

平成30年度病虫害発生予察 特殊報第2号

平成30年8月1日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

1 害虫名 ヨコバイ科の一種 *Eupteryx decemnotata* Rey

2 発生作物 ローズマリー

3 発生経過

平成30年6月に大分県内の家庭菜園において葉を吸汁するヨコバイ類が確認され、現地で採集した個体を農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、*Eupteryx decemnotata* Rey と同定された。本県での本虫の発生確認は初めてであり、九州における初確認でもある。

4 県内の発生状況

- 1) 初確認年月日：平成30年6月12日
- 2) 発生確認地域：大分県中部
- 3) 発生確認面積：1鉢

5 発生生態と被害状況

1) 形態

成虫は体長 2.2 ～ 3.0mm で細長い（図 1）。体色は黄緑色で前翅に褐色で縁取られた斑紋が多数あるほか、頭部に 10 個の黒色斑紋がある（図 2）。

2) 生態

日本国内での生態は分かっていない。本種はヨーロッパ原産で、現在の発生国はイギリス、イタリア、ドイツ、フランス、ポルトガル、スイス、スロベニア、オーストリア、ポーランド、アメリカ合衆国等である（Magdatena and Krazysztof, 2015 ; Rung et al., 2009）。ヨーロッパでは卵で越冬し、6 ～ 10 月に成虫が発生し、年間 2 ～ 3 世代以上発生するとの報告がある。

寄主植物は、シソ科で、ローズマリー以外に、海外ではイヌハッカ、セージ、タイム、マジョラム、ミント、レモンパーム、ラベンダーの他、バジルへの寄生が確認されている（Nickel and Holzinger, 2006 ; Rung et al., 2009）。

3) 被害状況

本虫が吸汁することで、葉が黄変し（図 3）、激しいときには落葉する。

6 国内での発生状況

本虫は 2016 年 5 月に千葉県で初確認され（千葉県特殊報第 2 号, 2016）、同年 10 月に神奈川県で発生が確認されている（神奈川県特殊報第 5 号, 2016）。

7 防除対策

- 1) 2018 年 6 月現在本種に対する登録農薬はない。
- 2) 栽培施設および栽培作物を寒冷紗等で被覆して侵入を防ぐ。
- 3) 被害程度の大きいものは、株ごと処分する。

(参考文献)

1. Magdalena, L. and Krazysztof, M. (2015) J. plant Prot. Res. 55:324-326.
2. Nickel, H. and Holzinger, W. E. (2006) Russian Entomol. J. 15:57-63.
3. Rung A., Halbert, S. E., Ziesk, D. C. and Gill, R. J. (2009) Insecta Mundi. 0088:1-4
4. 千葉県農林総合研究センター病害虫防除課 (2016) 平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号. 国内未記録種のヨコバイの発生について (ローズマリー)
5. 神奈川県農業技術センター病害虫防除部 (2016) 平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 5 号. ヨコバイ科の一種



図 1 *Eupteryx decemnotata* 成虫



図 2 *Eupteryx decemnotata* 頭部

農業研究部 病害虫対策チーム原図



図 3 ローズマリーの被害の様子
中部振興局原図